

湧別町立芭露学園 入学式

ゆうべつ町

★議会だより

65
号

2026 (令和8) 年5月25日

発行／北海道湧別町議会



主な内容

- ① 令和8年度予算を可決
第1回定例会 (3月)
- ② 審議ピックアップ
- ③ 町政を問う
- ④ 常任委員会の活動
- ⑤ 議会の活動
- ⑥ 湧別高校校長先生への
インタビュー

町政を問う!!

議員5名が8件の一般
質問を行いました。

人と自然が輝くオホーツクのまちを目ざして

新たな学園生活のスタート
【芭露学園入学式】

議会だよりは町民有志プロジェクトにより選定された5色のゆうべつの色のうち、そらとしくいろを使用しています。

令和8年度予算を可決 ～総額146億420万円～

令和8年
第1回定例会

令和8年第1回定例会は3月4日に開会し、町長から新年度の町政執行方針、教育長から教育行政執行方針が述べられ、令和7年度各会計補正予算、条例の制定および改正、令和8年度各会計予算など、町から議案等29件、議会から議案等2件が提出されました。また、一般質問等を含め審議を行い、8日間をもって3月11日に閉会しました。

新庁舎凍結解除の住民投票は否決

町長から提出されていた新庁舎建設の凍結解除に係る住民投票条例の制定の再議について審議が行われ、賛成が3分の2以上に達せず否決となりました。（関連記事は5ページ）

湧別町の1年間の収入や、まちづくり、福祉、教育、道路や施設の整備、役場運営などに要する経費（一般会計）は、107億700万円、国民健康保険や介護保険（特別会計）、水道、下水道（公営企業会計）の整備などに要する経費の合計額は、38億9,720万円として、令和8年度の収支予算案が提出され、議会の予算審議を経て、**全会一致で原案可決**しました。

各会計予算額

会 計 名	8年度当初予算額	7年度当初予算額	比 較	
一般会計	107億700万円	108億8,700万円	1億8,000万円減	1.7% 減
国民健康保険特別会計	14億1,590万円	14億5,030万円	3,440万円減	2.4% 減
後期高齢者医療特別会計	2億2,400万円	1億8,150万円	4,250万円増	23.4% 増
介護保険特別会計	11億5,990万円	11億5,820万円	170万円増	0.2% 増
水道事業会計	3億830万円	3億2,390万円	1,560万円減	4.8% 減
簡易水道事業会計	1億5,630万円	1億5,340万円	290万円増	1.9% 増
下水道事業会計	6億3,280万円	6億2,910万円	370万円増	0.6% 増
合 計	146億420万円	147億8,340万円	1億7,920万円減	1.2% 減

令和8年度一般会計予算の主な事業

(1万円未満切捨て)

事業名	事業費	内 容
ふるさと納税返礼品開発等支援事業	2,000万円	ふるさと納税返礼品の開発等に取り組む事業者等に対し経費の一部を補助します。
上湧別庁舎等整備事業	1億4,373万円	来庁者や職員に対する環境改善、温室効果ガス排出量及び消費電力の削減を図るため、上湧別庁舎、上湧別コミュニティセンター、消防上湧別出張所、文化センターさざ波のトイレ改修、冷房設備、LED化などの整備等改修工事を行います。 ・トイレ改修工事 1,250万円 ・冷房設備工事 1億530万円 ・照明LED化工事 1,280万円 ・ブラインド改修工事 950万円 ・エントランス改修工事 363万円
分譲宅地造成事業	1億8,399万円	町内外からの定住促進を図るため、旧湧別小学校跡地の分譲宅地造成工事を行います。
湧別高等学校学生寮整備・管理運営事業	1億1,001万円	湧別高等学校学生寮「宿泊交流施設 Yura Yubetsu」の管理運営と駐車場などを整備する外構整備工事を行います。
高齢者生活福祉センター整備事業	2,800万円	高齢者生活福祉センターの暖房設備改修及びエアコン設置を行います。
高齢者等外出支援ハイヤー料金助成事業	2,046万円	利便性向上及び外出機会の提供を図るため、障がい者及び高齢者に対しハイヤー券を交付します。
子育て応援祝金支給事業	810万円	子育て支援の推進を図るため、子育て世帯に対し入学・入園等の節目年齢に3度にわたり祝金の支給を行います。
保育ICTサービス導入事業	411万円	保護者の負担軽減や児童に対する安全な保育の提供及び保育事務の効率化を図るため、登降園管理などを行う保育ICTサービスを導入します。
医療施設等整備補助事業	759万円	曽我病院、佐々木歯科医院の医療施設等の整備に対し補助を行います。
地域医療維持事業	3,303万円	地域医療に欠かすことのできない入院病床を維持確保するため、曽我病院に対し補助を行います。
遠軽地区連携地域広域事業	5,316万円	遠軽厚生病院に対し、地域センター病院としての診療機能維持を図るため、遠軽町・佐呂間町と共に支援を行います。 ・遠軽厚生病院財政支援負担 5,066万円 ・医師確保対策事業 250万円
インフルエンザワクチン接種費用扶助事業	573万円	インフルエンザワクチンの接種費用を助成します。
一般廃棄物最終処分場整備事業	3億9,856万円	遠軽地区広域組合が実施する一般廃棄物最終処分場の施設整備に対し、遠軽町・佐呂間町と共に負担します。 【事業期間】令和5年度～8年度【建設場所】湧別町福島
穀類乾燥調製貯蔵施設整備事業	5億8,613万円	小麦の品質及び生産力の向上を図るため、湧別町農業協同組合が所有する穀類乾燥調製貯蔵施設の増設整備などに対し補助を行います。
バイオガスプラントエネルギー利活用事業	1,100万円	バイオガスプラントで発生する余剰エネルギーを有効活用するため、事業性調査を行います。
農用地湧水処理対策事業	400万円	圃場の湿害等を軽減し、作物の生産性の向上を図るための湧水処理（暗渠排水）を行う農業者等に対し補助を行います。
森林資源活用プロジェクト推進事業	2,500万円	森林を起点として、新たな森林管理体制の構築、バイオマスとゼロカーボンシティの実現など、地域に必要とされる活性化策や事業化への取り組みについて調査・検討を行います。
外国人技能実習生等宿舍整備事業	5,600万円	水産加工部門の深刻な人手不足に必要な不可欠な外国人材が暮らしやすい居住環境の提供のため、外国人技能実習生向け宿舍整備を行う湧別漁業協同組合に対し、補助を行います。
チューリップフェア40回記念事業	520万円	40回の節目を迎えるゆうべつチューリップフェアの魅力を広く発信するため、記念事業を行います。
かみゆうべつ温泉チューリップの湯整備事業	5,136万円	安定した湯量及び安全できれいな温泉水の確保のため、かみゆうべつ温泉チューリップの湯のポンプ等取替工事などを行います。 ・ポンプ取替工事 4,160万円 ・ろ過タンク取替工事 976万円
公営住宅整備事業	5,080万円	老朽化の進んだ花園団地の解体工事と建替の実施設計を行います。
文化センターTOM外壁改修事業	3,000万円	老朽化した外壁の補修工事を行います。
文化センターさざ波舞台吊物装置改修事業	4,200万円	老朽化した吊物設備の改修工事を行います。
給食無償化事業	3,301万円	義務教育学校前期課程の給食費の無償化に合わせて、義務教育学校後期課程の給食費の無償化を行います。

令和8年度予算
（主な質疑応答（要約））

・学生寮管理業務

Q 湧別高校学生寮について、管理業務の委託事業者はどのように周知して決定しているのか。

A また、管理業務とは別にハウスマスターを配置するとのことだが、これらも管理業務委託の中を含めた方が良いのではないか。

・冷房設備整備事業

Q クーリングシエルターの目的で上湧別庁舎などに冷房設備工事を行うとのことだが、現在、クーリングシエルターとして指定している施設は何か所あるのか。

A クーリングシエルターについては、熱中症特別警戒アラートが発表された時に一般に開放されることになっており、現在、文化センターさざ波、文化センターTOM、湧別図書館、保健福祉センター、上湧別庁舎3階委員会室の5カ所を指定している。

・ハイヤー料金扶助

Q 令和7年度予算と比較して大幅に予算が増額となっているが、増額の根拠は。

A また令和6年度の実績でハイヤー券を使いきった方が少数であり、平等の観点から不必要に使用されることがないように、運用上において制約を設けることはできないのか。

A 町長の執行方針にも「より一層の外出を支援するため」とある。交通弱者に対する支援の更なる充実を図るため、今回増額としている。

歩行困難な方の利便性の向上、積極的な社会参加の促進など、外出を主として交付しているものであり、有意義にハイヤー券を使っていた観点から制約を設ける予定はない。

審議
ピックアップ!

こども家庭センターの設置

児童福祉法に基づき、「湧別町こども家庭センター」を設置するための条例が提出され、審議の結果、全会一致で可決しました。

勤務成績を

職員の給与に反映

職員の勤務成績を昇給に反映させるための改正条例が提出され、審議の結果、全会一致で可決しました。

リバーサイドゴルフ場
使用料が変更

物価高騰等に伴い、ゴルフ場の使用料を改正するための条例が提出され、審議の結果、全会一致で可決しました。

教育委員会
教育長の同意

令和8年3月20日をもって任期満了となる教育長の任命に同意を求められ、審議・起立採決の結果、全会一致で同意しました。



あべ 勉 氏
阿部 勉 氏

令和7年度各種会計補正予算

(1万円未満切捨て)

会 計 名	補正回数	補正額	補正後予算額
一般会計	9 回目	△3億9,816万円	123億3,798万円
国民健康保険特別会計	3 回目	△115万円	14億4,836万円
後期高齢者医療特別会計	1 回目	△269万円	1億7,880万円
介護保険特別会計	4 回目	△2,104万円	11億8,441万円
水道事業会計	4 回目	377万円	2億4,235万円
		△814万円	8,335万円
簡易水道事業会計	2 回目	△10万円	1億2,796万円
		△204万円	2,386万円
下水道事業会計	4 回目	△535万円	3億8,373万円
		△1,781万円	2億2,418万円

一般会計ほか特別会計の補正予算が提出され、審議・採決の結果、いずれも全会一致で原案可決しました。
※その他の議決案件は次ページに記載。

令和7年度補正予算の可決

一般会計補正予算の主な内容

(1万円未満切捨て)

事業名	補正額	内 容
給与費	△3,669万円	職員人件費の実績見込みによる減
ふるさと納税支援業務	△4,300万円	寄附金の実績見込みによる減
新庁舎等整備事業	△3,353万円	新庁舎等整備事業設計業務委託料の執行残による減
ごみ焼却施設整備事業	△4億4,674万円	遠軽地区広域組合負担金の確定見込みによる減
農業振興事業	△9,880万円	穀類乾燥調製貯蔵施設整備事業補助金の事業費確定による減
畜産振興事業	7億2,299万円	畜産・酪農収益力強化整備特別対策事業補助金の追加による増
漁港整備事業	2,363万円	中番屋船揚場整備事業補助金の追加による増
遠軽地区広域組合負担金	△5,190万円	遠軽地区広域組合の負担金確定見込みによる減

新庁舎建設の凍結解除の是非を問う 住民投票条例は否決

第2回臨時会において議決された「湧別町新庁舎建設計画の凍結を解除する是非を問う住民投票条例」について、町長から異議があるため※再議が出され、質疑・討論後に議員全員による特別多数議決の結果、**賛成が3分の2以上に達せず否決され、廃案**となりました。討論の内容は次のとおりです。

住民投票に賛成の意見

- 合併推進債という有利な起債を活用し新庁舎建設をすべきである。
- 町長は議員時代に文化センターTOM周辺に新庁舎建設の構想を持っていたはずである。
- 住民投票は住民に与えられた権利である。

住民投票に反対の意見

- 直近の町長選挙が実質の住民投票であり、新庁舎建設については民意が反対と明確な形で示された。
- 既に合併推進債の申請を取り下げしており、条例制定請求にある「合併推進債を活用した庁舎建設」ができない状況で、住民に何を問うのか。

※再議とは、議会の議決に異議がある場合、町長が議会に対して審議と議決のやり直しを求めることです。再議に出された議案は、出席議員の3分の2以上の賛成がなければ可決されず、廃案となります。今回、町長から出された再議は**一般的拒否権（地方自治法第176条①）**と呼ばれるものになります。

審議結果一覧

Result of Deliberations

令和8年
第1回定例会

再議	湧別町新庁舎建設計画の凍結を解除する是非を問う住民投票条例の制定の再議について 令和8年第2回議会臨時会において可決された「湧別町新庁舎建設計画の凍結を解除する是非を問う住民投票条例」について異議があるため、再議を求めるもの。(特別多数議決)	令和8年2月27日 議決議案第1号 否決
条例	湧別町こども家庭センター条例の制定について 児童福祉法の規定に基づき、「湧別町こども家庭センター」を設置するため、制定するもの。	原案可決
	湧別町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について 特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準の公布に伴い、制定するもの。	原案可決
	湧別町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 人事評価の結果を職員の昇給に反映させることに伴い勤務成績の評価期間を改めるため、制定するもの。	原案可決
	湧別町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について フルタイム会計年度任用職員の保育士の処遇改善のため制定するもの。	原案可決
	湧別町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について 道路法施行令の一部の改正に伴い本町の道路占用料について改正するため制定するもの。	原案可決
	湧別町上湧別リバーサイドゴルフ場条例の一部を改正する条例の制定について 物価高騰等に伴う使用料の改正を行うため制定するもの。	原案可決
	湧別町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める基準の改正に伴い制定するもの。	原案可決
	湧別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の改正に伴い制定するもの。	原案可決
人事	湧別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴い制定するもの。	原案可決
	湧別町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴い制定するもの。	原案可決
その他	教育委員会教育長の任命について 令和8年3月20日をもって任期満了となるため、栄町阿部勉氏を任命するもの。	同意
	オホーツク町村公平委員会委員の選任について 令和8年3月31日をもって任期満了となるため、遠軽町舟木淳次氏を選任するもの。	同意
	湧別町過疎地域持続的発展計画の策定について 総合的かつ計画的な行政運営を図るため議決するもの。	原案可決
	公有水面の埋立について 公有水面埋立法の規定により議決するもの。	原案可決
	議員の派遣について 3月定例会以降、来年3月定例会までの間、議員の出張の取り扱いを議長に一任するもの。	承認
	閉会中の所管事務調査等の申出 総務厚生常任委員会 1) 公共施設再配置実行計画の実情と今後の計画について 産業文教常任委員会 1) 水産業の現状と今後の水産振興について 議会運営委員会 次期議会の会期日程等議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項	承認

※令和7年度補正予算、令和8年度新年度予算は除く。

次の議会定例会は、6月中旬を予定！

主な内容は、議案審議と一般質問です。
詳しくは、今後のかわらばんや町ホームページでお知らせします。



令和8年3月開会の第1回定例会において、5人の議員から質問があり、理事者の答弁は次のとおり。(質問と答弁は要約)

- | | |
|-----------|---|
| 1 関野一良 議員 | ①まちづくり懇談会での町民の意見をどう受け止めるか
②町長の報道に対する姿勢について |
| 2 高田映三 議員 | ①オール湧別を進めるには
②ハッカは蘇るか |
| 3 小形秀和 議員 | ①湧別高校学生寮の2棟目建設計画を至急すべきでは
②「まちなか再生」について |
| 4 姉崎正弥 議員 | ①幼児期のスポーツ環境整備について |
| 5 竹林直人 議員 | ①パブリックコメントについて |



関野議員

まちづくり懇談会が開催され、私も7会場へ出向き、町民からの町政運営に対する厳しい意見を拝聴した。

関野議員



懇談会での町民の声をどう受け止めるか



意見を真摯に受け止め、検討を重ねて今後の政策に生かしていく

懇談会の開催地域については、どのように決められたのか。

関野議員

【再質問】

1月20日から始まったまちづくり懇談会は、これまで12会場、15自治会で開催され、555名が参加した。懇談会では道路維持や除雪、公共交通、熊対策、観光産業振興など、幅広い意見や要望が寄せられ、町民のまちづくりへの関心の高さがうかがえた。特に庁舎問題に関する意見は賛成・反対双方、多くの意見が寄せられ、町民の皆様が真剣に向き合っている姿勢を感じた。町長として初めての懇談会であり、寄せられた意見や要望には即答できない場合もあったが、真摯に検討し、今後の政策に活かしていくことを考えている。

懇談会の開催地域については、どのように決められたのか。

関野議員

【再質問】

1月20日から始まったまちづくり懇談会は、これまで12会場、15自治会で開催され、555名が参加した。懇談会では道路維持や除雪、公共交通、熊対策、観光産業振興など、幅広い意見や要望が寄せられ、町民のまちづくりへの関心の高さがうかがえた。特に庁舎問題に関する意見は賛成・反対双方、多くの意見が寄せられ、町民の皆様が真剣に向き合っている姿勢を感じた。町長として初めての懇談会であり、寄せられた意見や要望には即答できない場合もあったが、真摯に検討し、今後の政策に活かしていくことを考えている。

町長として、これまでの懇談会を通じて、町民の意見をどのように受け止めているか。

加藤町長

か。例えば、自治会連合会などで要望のあった地域を基準に行われたのか。
私も懇談会へ出向いたが、その地域の方々の発言少ないにも関わらず、動員されたかのように町長の支持者がいずれの会場においても発言している状況が多く見られた。このことから、今後のまちづくり懇談会の在り方を考えていただきたいが、町長の考えは。

加藤町長

今回の懇談会は、各自治会に開催希望を募り、希望した地域のみで開催とし、庁舎問題の関連もあることから、他の自治会からも自由に参加できる形をとった。

懇談会では、最初に地域の自治会の方々の意見・要望をいただき、その後、他の自治会の方の発言をいただいた。今までの懇談会とは開催方法が異なるが、各地域の要望はしっかりと受け止めた。

次年度に向けては、自治会ともよく協議しながら、まちづくり懇談会の在り方を検討していく。



旧中湧別小学校の利
活用の報道の意図は



廃校となった4校の
利活用を検討してい
く趣旨である

関野議員

旧中湧別小学校の利活用について、複合施設として再編成する内容の記事が令和8年2月24日の北海道新聞に掲載された。

議会に説明がなく既成事実化の懸念があると考えるが、今回の報道についてどのような意図があるのか。

また、自身の考えと異なる内容で報道がなされているのであれば、報道機関へ注意や抗議を行っているか。

加藤町長

新聞報道で、新庁舎建設予定地だった旧中湧別小学校を子育て支援などを行う複合施設として再整備する考えが打ち出たとされる記事が掲載された。

私の発言の趣旨としては、中湧別小学校だけではなく、学校統合によって廃校となった上湧別小学校や富美小学校、開盛小学校においても、学校校舎の利活用について、今後様々な方々の意見も聞き議会とも検討していきたいと考えており、子育て支援や、老朽化した社会福祉会館の代替施設などとしても活用できないか、また、実施設計の内容容についても、参考にするものがあれば、参考にしたと考えて発言したものである。

報道機関は、報道の自由に基づき、取材し、責任を持って記事にしていると認識しており、個別に注意や抗議はしていないが、今後において事実と異なる報道がされた場合には、訂正を求めるなど、対応していく。

【再質問】

関野議員

町民は、庁舎と複合施設を含め全て凍結と理解しており、なぜ中湧別小学校の利活用の新聞報道が出てくるのか。町民が混乱してしまう。地域づくり懇談会では耳を塞ぎたくないような意見が多かったが、町長の言うオール湧別とは何を指すのか。

加藤町長

4つの学校が廃校となっているわけであり、今後どのように利活用を進めていくか、地域の方々と議会の方々と相談していきたい。

庁舎問題については、厳しい意見も含め、賛成反対の意見をよく聞いており、時間がかかるかもしれないが、私の考えを町民の皆さんに理解していただき、町民の融和を進め、町民一丸となって町の発展に尽くしていただくことを申し上げてまいりたい。



町民一丸でオール湧
別を進めるには



町民の声に耳を傾け
対話を大切に課題解
決に努める

高田議員

町長は、昨年10月19日の町長選挙において初当選を飾り第4代の湧別町長に就任をされた。

熾烈な選挙戦となったが、結果は民意の表れであり、評価である。

町民は町長に湧別町の屋台骨を託したわけであり、選挙戦が終わればノーサイドである。

これから、町民一丸となって融和を図り、スクラムを組んで前進すべきものと思う。

そのためには、将来のまちづくりのビジョンを示され、



高田議員

その上で、自分のカラーをしつかりと出していくべきものと考えますが、その実現のためには、湧別町の機運を少しでも高めていく必要があるかと思う。

今後、町長はどのような姿で町民の心をとらえ、そしてまとめていく考えか。

加藤町長

昨年10月19日の町長選挙は、新庁舎建設の是非が最大の争点であり、結果として、庁舎建設は凍結するという私の公約を支持する町民の方が多かったが、議会の所信表明などで繰り返し申し上げているとおり、私は町を分断するために、町長選挙に立候補し、議長になったわけでない。

議員おっしゃるとおり、選挙が終われば、ノーサイドであり、これからは町民一丸となって融和を図り、スクラムを組んで前進すべきであると考えている。

現場主義を徹底し、机上で考えるのではなく、私自身が現場や各種会議、会合に積極的に出向き、現状や問題を直接把握し、政策判断に生かしてまいりたい。

また、挨拶は職員の敬意や存在承認を示し、まちづくりを進める上での人間関係の進化にも寄与すると思っており、職員にも奨励し、役場全体として、町民皆様との信頼関係を構築してまいりたいと考えている。

最後に、町民の声なき声に耳を傾け、町民との対話を大切にしながら、知恵を出し、地域の課題解決に努めていく。

当然ひとつの行政課題に対し、異なる町民の意見、要望があることも想定されるが、町民目線で考え、様々な考え方をしっかりと理解した上で、議員の皆様と議論を重ね、責任を持った判断と説明責任を町民の皆様に対して果たしてまいりたいと考えており、それが議員の言われる融和を図り、オール湧別に向けて、一步一步前進していくことになるかと信じている。

【再質問】

高田議員

歴代町長が定期的に行っていた湧別高校生との対話交流の継続や若年層との意見交換の場を増やし、町への要望や提言を求め、多様な意見を町政に活かすことが望ましいと考えてる。

さらに、役場職員とのコミュニケーションを重視し、

職場環境を良好なものにし、町民への行政サービス向上を図っていただきたいと考えてる。

湧別町を支えるには、町民一人ひとりの「愛町精神」が重要であり、「人と自然が輝くオホーツクのまち」を目指し尽力していただきたいと考えるが。

加藤町長

私も議員時代に湧別高校生との意見交換会に何度か出席し貴重な意見を聞いている。今後においても、町長としてしっかりと高校生の意見を聞いてまいりたい。

それから、若年層についての意見であるが、私は若年層ばかりでなく、各世代の方々の意見交換会なども設け積極的に皆さんの意見を聞いてまいりたい。

また、職場環境の件であるが、職員の皆様のいろいろな意見要望を聞き、職場環境の改善を徹底してまいりたいと考えており、総合計画にある「人と自然が輝く」この理念のもとに、私もこれから町政

を進めてまいりたいと考えている。

Q ハッカによるイメージアップの考えは

A ブランディング強化、新商品開発などに期待し進めたい

高田議員

本町は北見工業大学と包括連携協定を締結したが、町長は、協定によりハッカ産地として栄えた湧別町の再興プロジェクトをスタートしたいと期待感を示された。

今、世界的に天然香料の需要が高まっており、元々ハッカを育んだ地域の歴史があるので、大きなビジネスチャンスがあるのではないかと考えており、北見工業大学陽川憲准教授は、オホーツク地方のハッカ栽培のきっかけを作った湧別町を実証フィールド

加藤町長

昨年12月、北見工業大学との間で、産業振興や地域経済の発展など、5項目にわたる包括連携協定を締結した。

具体的な取組の一つが、本町を実証実験のフィールドとして活用し、ハッカをはじめとする香料作物の資源調査や、栽培研究を推進していく計画であり、本年4月の雪解け後から、オホーツク湧別バリオガス株式会社のバリオガスプラント施設内にある試験圃場を活用し、数種類の香料作物などの栽培試験及び研究を開始する予定であり、現在、北見工業大学と協議を進めている。

ドに、ハッカなどの香料作物の資源調査や、栽培研究を進めたいと述べられている。これが実現すれば、いずれ新商品開発や、販売開拓ができ、香りのツーリズムとしても利用も考えられ、本町のイメージアップにもつながると思うが、今後、どのような期待と方向性の考えを持っているか。

かつて日本有数のハッカの産地として栄えた本町で「ハッカの再興プロジェクト」がスタートすることで、将来的には栽培から、商品まで一貫した産業体系の構築を図り、町のブランディング強化、新商品の開発、雇用の創出、さらには、民間企業の参入促進などにつながるものと期待している。

現時点では、具体的な未来像を描くことが難しい部分も多くあるが、北見工業大学が実施する試験研究などへの支援を進めると同時に、町内の関係団体にも協力を依頼しながら、新たな可能性を模索していきたいと考えている。

【再質問】

高田議員

北見工業大学の陽川憲准教授が立ち上げると言われている、植物由来の有用成分「二次代謝物」を製造する会社とは何らかの形で関わりを持っていくのかどうか。



加藤町長

今後、会社を立ち上げるという話を聞いているが、もし立ち上げたなら、私は支援をしてみたいと考えている。



加藤町長



湧別高校学生寮の2棟目を建設すべきでは



早急な対応が必要と考え、整備方針、スケジュール整理し進める

小形議員

湧別高校の学生寮は高校出身の長谷川芳博様の御寄附をいただき建設され、今春、運用の運びとなった。
当初、入寮者の確保が心配されたが、予想以上の申し込みがあり、道外から7名、道内から4名の希望者があり、11室への入寮が決まったところであり、残りは、バリアフリーを含む6室となっている。
湧別町の高校体験入学訪問に対する支援や寮費が安価な点など、湧別高校存続への支援策が功を奏し、湧別高校の



小形議員

2間口が確保された。

良い方向に考えると、令和9年度以降も令和8年度と同等程度の入学者が見込まれるが、今後、学生寮が足りない状況が予測される。

入学する者を拒むことなく受け入れることが重要であり、湧別高校の存続に対する湧別町の本気度が試されている。

町の人口減少を防ぐ対策ととらず、人口増加を進める施策として進めることが、町長の考える以前のような華やかな中湧別につながるのではない。

湧別高校学生寮2棟目建設

加藤町長

に向け、至急、建設計画を進めるべきと考えるが。

湧別高校については、1学年2間口の維持を町の重要施策として位置づけ、湧別高校の魅力化向上に取り組んでおり、昨年、湧別高校の卒業生である長谷川芳博様より学生寮の建設の御寄附をいただき、課題であった遠方からの生徒の受入れ体制が整った。

今春の湧別高校新入生は6年ぶりに2クラス編成になる見通しとなっており、道外や、オホーツク管外からの入学予定の生徒である地域みらい留学生も11名と予想を大きく上回り、学生寮の整備がその要因であると考えている。

今後もし学年、2クラス編成を維持するためには、町内の義務教育学校卒業生数の推移を見据え、町外からの地域みらい留学生の継続的な募集、受入れは不可欠と考えており、湧別高校学生寮の2棟目の建設についても議員と同様に早急な対応が必要と考えている。

現状、地域みらい留学生募集については、現在の学生寮1階の客室6室を活用した受入れを考えているが、令和9年度以降の対応については、学生寮の配置や、土地の利用、今後の管理体制等を総合的に考えると、既存の学生寮に増築することが、望ましいのではないかと考えており整備方針や財源、具体的なスケジュールなどを整理した上で、議会ともご相談させていただきたい。

【再質問】

小形議員

私はもう1棟建てても良いのではと考えているが、増築にするのか、1戸建てにするのか町長の考えは。

加藤町長

財源の確保という大きな課題もある。増築にするか、新たな建物にするか、慎重に検討していきたい。



文化センターTOM周辺の活性化とは



にぎわいのあるまちの創出であり、具体的な検討を進める

小形議員

令和8年度の町政執行方針において、文化センターTOM周辺の活性化について、施設ごとの機能向上に関し、本年度はチューリップの湯、上湧別百年記念広場、旧中湧別駅跨線橋の機能向上に向け、町民ワークショップを開催するなど、具体的な検討を進めていると書かれているが、具体的にはどのようなことなのか。

加藤町長

文化センターTOM周辺の活性化については、飲食店、宿泊施設、文化センターTO

Mなど五つのゾーンに区分し、それぞれの機能向上や活性化策を展開することでにぎわいのあるまちの創出を目指すもので、既に学生寮兼宿泊施設や、コインランドリーの整備が終了した。

これまでの経過では、庁舎内プロジェクトチームによる検討に始まり、地域力創造アドバイザーを招聘し、町なか再生や五つのゾーンに求められる機能について、先進事例を参考に、若手住民の参加によるワークショップの開催や関係機関の皆さんと協議を重ねてきた。

令和8年度は、チューリップの湯、上湧別百年記念広場、旧中湧別駅跨線橋の機能向上策について、道の駅としての魅力度アップや24時間トイレの機能不足への対応、駐車場の規模や安全性の改善など7点の検討が必要であると考えており、町民をはじめ関係機関の皆さんとワークショップを開催し協議を進めたいと考えている。

【再質問】

小形議員

町長の選挙時の選挙公約になるが、道の駅愛ランド湧別の再生を検討し、大自然や観光資源をPRし、観光客の増加を図るとの新聞記事を拝見した。

北見と湧別にしかない、遊具を置いている施設であることから、この施設の在り方について町長の考えは。

加藤町長

地域力創造アドバイザー招聘事業において、TOM周辺のまちなか整備、道の駅愛ランド湧別などの観光施設の機能向上への提言を受けることとなっており、来年度に向けて道の駅の在り方を総合的に検討していきたいと考えている。



姉崎議員



幼児向けスポーツ教室への支援を



支援を検討するが、現行補助制度も活用いただきたい

幼児期は、運動機能の発達において重要な時期と言われる、3歳から6歳頃は、走る、飛ぶ、投げる、といった基本的な動きを身につける時期であり、多様な動きを経験することによって、基本的な運動能力が形成され、運動への意欲や、社会性の育成にもつながる可能性がある」と指摘されている。

本町においては、子供たちのスポーツ活動を支える環境づくりが行われているが、一方で少子高齢化の影響により、スポーツ団体の会員減少や、指導者不足といった問題が生じていると伺っている。

幼児期の段階から運動機会の提供を行うことで、将来的なスポーツ人口の拡大や競技活動の形成につながる可能性、移住定住の促進の観点からも子育て世代にとって地域の魅力向上に意義を有するものであり、地域の中から、新たな指導者が育成されるなど人材の発掘にもつながる可能性があるものと考えます。

幼児期における多様な運動機会の創出を図るため、民間事業者や地域団体が実施する幼児向けスポーツ教室の取組を支援する制度を創設してはと考えるが町長の考えは。



姉崎議員

加藤町長

幼児期は運動機能の発達において極めて重要な時期であり、本町の保育所・認定こども園の幼児教育・保育活動としては、鬼ごっこなどの運動的な遊びや、音楽に合わせて体を動かすリズム遊びなどを行うほか、専門講師による鉄棒やマット運動などの直接指導、保育士に対する指導方法の研修など、幼児の運動能力形成に向けた取り組みを行っている。

本町では、町民の自主的、自発的な活動に対しての経費を一部支援する「生涯学習振興奨励事業補助金制度」を設けている他、健康運動実践指導者などの資格を有する教育委員会職員がおり、必要に応じて派遣して、指導することもできるので活用していただければと思っています。

現在、本町では幼児向けに運動スポーツ教室を実施している民間事業者団体はないが、今後、民間事業者や団体などが組織されれば、支援についても検討してまいりたい。

【再質問】

姉崎議員

ホームページに補助金制度が掲載されているが分かりにくいものとなっている。制度の使用の回数制限や年数制限、一団体当たりの年間上限額があるのか。制度利用の一回当たり上限額が10万円と理解しているがいかがか。

また、要綱の中に、実施団体に所属している方への謝礼は適用外となっているが、団体に所属せず、外部指導者という形であれば、謝礼は適用されるか。

加藤町長

補助限度額については、年間で10万円以内と定めている。また、講習会教室の開催などに対し、二千円及び交通費の補助もあるので活用いただければと思う。

謝礼について、実行委員会を組織して実施する場合など、外部組織に対する謝礼については適用になると思われる。

Q 町政に対する町民の意見の広聴の手法は

A 現在行っている取り組みを更に充実・拡充する

竹林議員

町が行っているパブリックコメントについて、先立って行われたものに関しては、0件であったという報告があったが、その役割を十全に果たしているとは言いがたい状況なのかと思われる。

町政に対する町民からの意見を町に伝えるために、今後、町長においては、何らかの手法をとる予定はあるか。

加藤町長

パブリックコメントは、湧別町自治基本条例に定める町民が、まちづくりに参加する方法の一つであり、対象政策は、町政運営の基本となる条例の制定や、公共施設の整備に係る基本的な計画の策定など、まちづくりの重要施策に限定しており、令和6年度は12件の政策について、パブリックコメントを実施した結果、47通の御意見を頂いている。

広聴機会を充実させるために様々な手法を講じており、団体やサークルを対象とし



竹林議員

た「町長とのふれあいトーク」や町民個人が町長と話し合う「町長いつでもカフエ」、さらに、自治会と町が共催で行う「まちづくり懇談会」も実施している。この他、御意見をお手紙で申し受ける「町長への手紙」やメールによる受け付けも行っている。

また、職員を地域担当スタッフとして各自治会に配置し、地域の要望などはスタッフを通じて受け付ける体制も整えており、それぞれの取り組みを更に充実させていきたい。

【再質問】

竹林議員

町民の意見を気軽に聞いていただくには、「町長いつでもカフエ」といった形では、時間に余裕のある人間でなければ利用できない。また、まちづくり懇談会においても形式ばったもので、発言がしやすい状況と考える。

町民のほうから町長の方へアクセスするのではなく、町長の方から意見を持っている

方たちのところへアクセスしてはどうかと考える。

町長は選挙期間中にSNS始めているが、これからオール湧別を目指すのであれば、逆側の意見になった方たちに、自身の意思を表明する媒体として、また、我々議員も開かれた議会を進めるために、町長がこれらを活用し、町を一つにするための情報を発信いただきたいと考えるが。

加藤町長

今後、いろいろな手法により、若い世代の方々にも自分の意見を言える場を拡充してまいりたいと考えている。

また、私の意見に賛成する方が多い地域と私の意見に反対する地域が現実にあることから、私の考えを皆さんに伝えて理解をしていただくことに取り組んでおり、SNSの活用についても検討してまいりたいと考えている。

それから議会についても、議員の皆様と協議しながら、どのような方法が町民に議会及び行政の進め方を理解して

もらえるかということを十分検討してまいりたい。

町長の行政報告

— 要約掲載 —

令和7年国勢調査

昨年10月1日を基準日として、令和7年の国勢調査が全国一斉に実施されました。

国勢調査は、統計法に基づき日本に住んでいるすべての人・世帯を対象とした、国の最も重要な統計調査であり、第1回調査は大正9年に実施され、今回の調査は22回目となり、人口や世帯数、男女別、産業別の人口構成、居住状況などを明らかにするために実施しております。

調査の結果であります、現時点における町の独自集計

としては、本町の人口は7538人で、前回の令和2年調査より732人の減で8.9%の減となっており、地区別で見ますと、湧別地区は3477人で、前回より326人の減、上湧別地区は4061人で、前回より406人の減となっております。

また、世帯数は3605世帯で、前回より87世帯の減で、2.4%の減となっており、地区別で見ますと、湧別地区は1637世帯で、前回より2世帯の増、上湧別地区は1968世帯で、前回より89世帯の減となっております。今回の調査結果における減少の主な要因としては、少子化の進行と若年層の町外転出などによるものと考えられます。

調査員の皆様には大変ご苦労をお掛けしましたが、大きなトラブルもなく無事調査を終了することができました。調査員の皆様のご労苦に対し、心から感謝申し上げます。

令和8年第1回臨時会

令和8年1月19日開会
～補正予算を可決～

第1回臨時会が1月19日に開会し、町長から議案等4件、議会から発議1件が提出され、審議しました。

令和7年度一般会計

補正予算を可決

一般会計の補正予算が提出され、審議・採決の結果、全会一致で原案可決しました。（いずれも1万円未満切捨て）

◇一般会計

・補正合計で5456万円を追加し、総額127億2404万円となりました。

主な内容は次のとおり

○普通交付税

732万円

○物価高騰対応重点支援
地方創生臨時交付金

2880万円

○物価高対応子育て応援
手当支給事業補助金

1844万円

専決処分の報告

公用車の物損事故における
和解及び損害賠償の額が決定
したことの報告を受けまし
た。

教育委員会委員の任命

退任に伴い、教育委員会委
員の後任の任命に同意を求め
られ、全会一致で同意しまし
た。

中湧別南町

三橋 裕介氏

副町長の選任

任期満了により欠員となっ
ていた副町長の選任に同意を

求められ、賛成多数で同意し
ました。

錦町

細川 徳之氏

固定資産評価員の選任

退任に伴い、欠員となっ
ていた固定資産評価員の選任に
同意を求められ、全会一致で
同意しました。

錦町

細川 徳之氏

新庁舎建設に伴う住民 投票の趣旨の尊重を 求める決議

竹林議員ほか1名の賛成者
から、新庁舎建設事業の凍結
及び契約解除に対する抗議と
住民投票の尊重について決議
が追加提出され、賛成多数で
可決しました。

賛成

6名

反対

4名

町長の 行政報告

— 要約掲載 —

住民訴訟

町内に居住する方より提訴
されている訴訟の状況につい
て、原告の方が取得した非木
造家屋について、評価の際に
乗じている調整率の適用箇所
に過ちがあるなどとして、平
成17年度から令和6年度まで
町に納付した固定資産税に過
納付があるとして、損害賠償
金39万2800円の支払い
を求められた損害賠償請求事
件の控訴審です。

判決理由として、本件の固
定資産税は、評価額に調整率
を乗じる方法で、最終的な評
価額を算出するという通知に
基づいて算出したと認められ
るため、国家賠償法上の故意
又は過失、違法性がないこと、
また、原告の主張する評価方
法によるべきことの根拠が見
当たらないことから、第1審
の判決は相当であると結論付
けられております。

当方の主張が全面的に認め
られた判決となりましたが、
控訴人は、この判決結果を不
服として、12月25日付で上告
手続きを行った旨、当方代理
人である弁護士から連絡があ
りました。

控訴人が裁判所に提出した
上告状並びに上告理由書につ
いては、まだ担当弁護士より
届いておりませんので、上告
理由等の内容詳細は不明で
はありますが、控訴審と同様
に代理人である担当弁護士と
しっかり打ち合わせを行いな
がら取り進めて参りたいと考
えております。

新庁舎整備に係る設計 業務委託契約解除合意

昨年12月の第4回議会定例
会の所信表明で申し上げた、
新庁舎整備に係る設計業務委
託契約の解除について、昨年
12月22日付けで契約解除通知
書を送付し、履行部分の委託
料について協議を進めてきた
ところであります。

この度、その協議が整い、
解除日を1月31日とし、契約
先である梓・岩見田設計共同
企業体との間で、契約解除合
意書を1月5日に締結いたし
ました。

この解除により、当初契約
額の2億3969万円が2億
669万円となり、3300
万円の減額となったところで
あります。

また、同様に執務環境ブラ
ン策定支援業務の契約先であ
る大丸株式会社道北支店北見
出張所との間においても、1
月31日を解除日とした契約解
除合意書を1月9日に締結い
たしました。

この解除により、当初契約
額の484万円が430万1

道及び町関係工事発注状況

(1万円未満切捨て)

工事名	工事場所	工期	請負金額	請負業者
中土場川道単砂防工事 (補正) (冬)	南兵村二区	R8.3.23	1,925万円	高橋土建(株) (佐呂間町)
芭露川大規模特定河川 改修工事 2 工区 (補正) (明渠) 外	芭露(芭露川右岸 ポン川合流点付近)	R8.3.23	4,202万円	(株)岸組 (佐呂間町)
学校施設体育館空調設備 設置工事实施設計 業務委託	錦町、屯田市街地、 芭露	R8.3.27	1,342 万円	(株)日本工房 (札幌市)

千円となり、539千円の減額となったところであります。
なお、今回の契約解除により、私が公約に掲げました、新庁舎整備事業の凍結に関する事務処理は、概ね完了したところであります。

令和 8 年 第 2 回 臨時会

令和 8 年 2 月 27 日開会
～専決処分の承認～

第 2 回臨時会が 2 月 27 日に開会し、町長から議案 2 件が提出され、審議しました。

令和 7 年度一般会計 補正予算専決処分

令和 7 年度一般会計補正予算の専決処分の承認が提案され、審議・採決の結果、全会一致で原案可決しました。

◇一般会計

1210 万円を追加し、総額 127 億 3614 万円となりました。

主な内容は次のとおり

○衆議院議員選挙費委託金

1210 万円

新庁舎建設凍結解除 住民投票条例の制定

請求代表者から新庁舎建設計画の凍結を解除する是非を問う住民投票条例の制定の請求があり、町長の意見を付して提案され、賛成多数で可決されました。

※本件については、令和 8 年 3 月 4 日開催の定例会において再議が提出され、賛成が 3 分の 2 以上に達せず否決され、廃案となりました。



町長の 行政報告

— 要約掲載 —

第 40 回記念湧別原野 オホーツククロス カントリースキークロス

今回で記念すべき 40 回目となりました「湧別原野オホーツククロスカントリースキークロス大会」が、去る 2 月 22 日に開催されました。

過去 2 年は、雪不足によるコース短縮が続き、本年の大会では、全長 80 キロの湧別原野コースを使用しての開催を目指しましたが、今冬も遠軽町内の一部区間で降雪量が不足しコース造成が困難となり、昨年同様、遠軽町東球場をスタートとする「湧別コース」をメインとする形で実施することを決定しました。
当日は晴天に恵まれ、気温も高く風も弱い絶好のコンディションのもと、大きな事

故もなく終了し「湧別コース」の完走者数は 408 名で完走率 99.76% となりました。
本大会が 40 年にわたり継続してきたのは、ボランティアや町民の皆様による献身的な協力と温かいおもてなしが参加者から高い評価を受けている成果と感じており、本大会開催にあたりご支援、ご協力をいただいた町民や関係機関の皆様にご心より御礼申し上げます。

寄付の採納

去る 1 月 27 日にホクレン農業協同組合連合会 代表理事 会長篠原末治様より「湧別町まち・ひと・しごと創生推進事業」に活用させていただく企業版ふるさと納税として、100 万円のご寄附の申し出をいただき、2 月 16 日に有り難く受納いたしました。
お寄せいただきました貴重な浄財は、ご意向に沿って有効に活用させていただきます。

常任委員会の活動

令和7年第4回定例会（12月開会）のあとから令和8年第1回定例会（3月開会）までの間における常任委員会の活動をお知らせします。

総務厚生常任委員会

令和8年
第1回総務厚生常任委員会
【2月5日】

●所管事務調査

「保健師・保育士の人員配置及び業務について」の調査を行いました。

「専門的職員確保のための就業時資金貸付」について、総務課担当者から、人員の配置や業務内容について、福祉課及び健康こども課担当者から説明を受けました。

人口減少が進む中において、町の子育て対策を担う職員の配置と確保について、今後も計画的に進めるようお願いしました。

●次回の所管事務調査項目

「公共施設再配置実行計画の実情と今後の計画について」を調査することにしました。



第1回総務厚生常任委員会の様子

産業文教常任委員会

第1回産業文教常任委員会
【2月4日】

●所管事務調査

「農業の現状と今後の農業振興について」の調査を行いました。

えんゆう農業協同組合及び湧別町農業協同組合を訪問し、各組織の概要、「中期農業振興計画・経営計画」、農家戸数、農地面積、乳牛頭数、販売取扱高などの説明をそれ



湧別町農業協同組合訪問の様子

●次回の所管事務調査項目

「水産業の現状と今後の水産振興について」を調査することにしました。

それぞれの担当者より受け、湧別町の酪農業と畑作業の現況、基幹産業である農業の振興と発展に係る取り組みについて理解を深めました。
また、新規就農対策について、農政課担当者より説明を受けました。

議会・各委員会は傍聴が可能です。

湧別町議会が開催する、議会（定例会年4回、臨時会随時）、全員協議会、委員会（議会運営委員会、総務厚生常任委員会、産業文教常任委員会、広報編集特別委員会など）は、傍聴できます。

以下の注意事項を確認のうえご参加ください。

- ・委員会については事前に議会事務局（01586-2-2130）に申し込みが必要です。

議会の活動

令和8年2月～4月

- 2月 2日(月) 遠軽地区広域組合議会臨時会(遠軽町)
- 4日(水) 第1回産業文教常任委員会
- 5日(木) 第1回総務厚生常任委員会
- 9日(月) オホーツク管内町村議会議長会定期総会(遠軽町)
- 11日(水) 上湧別神社建国記念祭
- 12日(木) 第2回議会全員協議会
- 22日(日) 第40回湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会表彰式
- 27日(金) 第3回議会運営委員会
第2回議会臨時会
- 28日(土) 自衛隊入隊・入隊予定者壮行激励会(遠軽町)
- 3月 1日(日) 第71回湧別高等学校卒業証書授与式
- 3日(火) 遠軽地区広域組合議会定例会(遠軽町)
第4回議会運営委員会
- 4日(水) 第1回議会定例会(～11日)
- 7日(土) 株式会社渡辺組創業120周年感謝の夕べ(遠軽町)
- 12日(木) 第25普通科連隊長送別会(遠軽町)
- 17日(火) 湧別町宿泊交流施設YuraYubetsu試食会
- 27日(金) 認定こども園みのり卒園証書授与式
- 30日(月) 第3回議会全員協議会
- 4月 2日(木) 認定こども園みのり入園式
第25普通科連隊長歓迎会(遠軽町)
- 3日(金) 湧別町アクティブチャレンジ実行委員会役員会
- 6日(月) 湧別町立各義務教育学校 入学式
- 7日(火) 遠軽地区総合開発期成会総会(遠軽町)
- 8日(水) 湧別高等学校入学式
- 17日(金) 湧別町自衛隊協力会総会
湧別町アクティブチャレンジ実行委員会総会
湧別町交通安全推進委員会総会
遠軽地区交通安全協会湧別支部総会
湧別町安心のまちづくり協議会総会
- 21日(火) 湧別町観光協会通常総会
- 23日(木) オホーツク紋別空港利用・整備促進期成会監査
第2回議会広報編集特別委員会

湧別町議会会議録がホームページで閲覧できます

湧別町ホームページ
会議録閲覧
(2次元コード)

議会会議録は町ホームページにて閲覧することができます。

ただし、過去(令和5年以前)の会議録の閲覧をご希望の際は、下記閲覧場所にて職員にお申出ください。

【閲覧場所】 議会事務局(役場上湧別庁舎3階)、湧別図書館、中湧別図書館



湧別高等学校 中條校長先生にお聞きします

今春、全国から第1期生（新1年生）を迎え、学生寮（湧別町宿泊交流施設 Yura Yubetsu）の運営がスタート、さらには新1年生学級が2間口となるなど、新たな取り組みが話題を集めている湧別高等学校。

そこで、4月に着任された **中條尚志校長先生** にインタビューをしてきました。

校長先生は今年度着任されましたが、学校の雰囲気はどうか？

すばらしい！生徒の表情がいい！愛情を注がれて安心して過ごされていると感じました。

寮生活をされている生徒たちの学校生活はどうですか？

11名の生徒がみんな「楽しい」と話してくれています。



（担当 村瀬直由委員 大野真紀委員）

宿泊交流施設 Yura Yubetsu



生徒数を維持していくために、どのような取り組みを考えていますか？

『地域ぐるみの教育』、『生徒たちに寄り添った愛情ある教育』、『Yura Yubetsuで安心・安全に暮らせること』をInstagramや写真展を通じて多くの方々に伝えていきたいと構想中です。

ゆうべつ町議会だより第65号

2026（令和8）年5月25日発行

発行／北海道湧別町議会

編集／議会広報編集特別委員会

委員長 姉崎 正弥

副委員長 村瀬 直由

委員 大野 真紀

委員 竹林 直人

〒099-6592

北海道紋別郡湧別町

上湧別屯田市街地318番地

TEL01586-2-2130/FAX01586-2-2511

印刷／（株）岡田印刷 林印刷所



4月6日、芭露学園の入学式の様子です。新1年生6人を含む、全校生徒45人で新学期を迎えました。新1年生は緊張した面持ちでしたが、式終了後の記念撮影では緊張がほぐれたのか、にこやかな笑顔をを見せてくれました。

第65号の表紙